

オレゴン便り

2013年 発行:中野亜紀子

9月になり、派遣校 Sheridan Japanese School(SJS)の新年度がスタートしました。4年生から12年生88名が通うSJSは、9月から新4年生12名を含む、18名の新しい児童生徒を迎えました。日本のように始業式や入学式もなく始まるアメリカの学校ですが、私もここでの勤務が2年目になり、昨年のような違和感もなく、新年度を過ごしています。2ヶ月半もある長い夏休みが終わり、9月の初め頃はそわそわした様子が見られた子どもたちも、9月も後半を迎え、徐々に落ち着いて学校生活を送っています。



9月になり、もう夏も終わってしまいましたが、今月号では、オレゴン州で主に夏に楽しめるアウトドアやオレゴン州の南部や中部にある観光地についてお伝えしたいと思います。

オレゴン州で楽しむアウトドア

8月後半、ホストファミリーと一緒に9日間にわたりオレゴン南部と中部をキャンピングカーで回ってきました。アメリカでハイウェイを運転していると、キャンピングカーをよく目にしますが、夏に入ると目撃する回数が特に増えました。住宅地を歩いていると、思った以上にキャンピングカーを所有している家を目にすることに驚きます。ホストファミリーが所有しているキャンピングカー



は、自動車でけん引して運ぶタイプのもので、キャンプサイトは主に、State Park (州立公園) のキャンプ場を利用しました。1泊30ドルほどで一区画を借りることができるようです。無料のシャワーなどもあり、きれいに管理されていました。

食事は、キャンピングカーに備わっているガスコンロや薪で火をおこして作ったりしました。夜はキャンプファイヤーを楽しみ、その火を使ってデザートにスモア(s'more)を作って食べるのが、子どもたちの食後の楽しみようです。スモアとは、焦がしたマシュマロを板チョコレートと一緒に2枚のグラハムクラッカーで挟んで食べるもので、夏が近づくとアメリカのスーパーマーケットでは、マシュマロ、ハーシーズの板チョコレート、グラハムクラッカーが店頭の目立つところに3つ並んで山積みになっているのをよく見かけました。

～スモアの作り方～



マシュマロを焙ります。



グラハムクラッカーの上に板チョコを載せ、焙ったマシュマロを置き、もう1枚のクラッカーで挟みます。



できあがり！！



キャンプ場の入り口で列をなすキャンピングカー



キャンプサイトには、たくさんのキャンピングカーが！



1泊30ドルほどで利用できる一区画

オレゴンコースト

オレゴン州の太平洋側に沿ってハイウェイ 101 という道路が南北に走っています。この道路沿いにある町は総称して「オレゴンコースト」と呼ばれています。今回の旅は、まずマクミンビルからハイウェイ 18 を西に向かい、その後ハイウェイ 101 に合流した後、南下し、フローレンスという町の郊外にある「ハニーマン州立公園(Honeyman State Park)」のキャンプ場に向かうことから始まりました。



フローレンスへ向かう途中、ニューポートというオレゴンコースト最大の観光地付近で、2つの灯台に立ち寄りました。オレゴンコースト沿いには、1800年代後半に建てられたという歴史的な灯台がいくつかあり、観光名所となっています。オレゴンで販売されているポストカードには、それらの灯台の写真を集めたものもあります。



最初に訪れたのは、ヤキーナ岬灯台(Yaquina Head Lighthouse)です。灯台のふもとのビジターセンターで灯台の歴史や周囲の自然について学んだあと、灯台へと歩いていきました。灯台の下には海鳥やアザラシ、ヒトデなどを観察できるビーチもありました。ボランティアのガイドさんに海の生物の生態について教えてもらい、ヒトデに触ってみたいもしました。その後、灯台の真下まで向かいました。遠くから見ると小さく見えた灯台でしたが、実際に近くに行ってみると、とても大きかったです。



次に訪れたのは、ヘセタヘッド灯台(Heceta Head Lighthouse)です。岬の上に灯台が建っていますが、岬の下に広がる白砂のビーチからは灯台は見えず、その後、ハイウェイ 101 をさらに南下すると、ヘセタヘッド灯台と美しいオレゴンコーストが一望できるポイントを発見しました。とても美しい光景に、時間が止まっているような感じがしました。



フローレンスでは、オールドタウン・フローレンスを散策しました。かわいい店構えの土産物屋やシーフード・レストランが立ち並び、通りを歩いているだけで楽しかったです。

フローレンスから南にあるクースベイにかけての太平洋岸沿いには、「オレゴン・デューン・ナショナル・レクリエーションエリア」と呼ばれる白砂の砂丘が広がっており、砂丘へ下りたり、砂丘を眺めたりすることができます。その砂丘では、子どもたちがそりのような乗り物で滑り降りたり、駆け下りたりと、思い思いに遊んでいる姿を見かけました。また、砂丘の一部では、デューンバギーにも乗ることができ、遠くからバギーの爆音が聞こえたと思うと、ものすごい速さで駆け抜けていきました。バギーが横転しそうなほど傾いて走るので、ジェットコースターよりも怖そうですね。

バギーが横転しそうなほど傾いて走るので、ジェットコースターよりも怖そうですね。

オレゴンコースト沿いには、陸からクジラが見える場所も多くあり、クジラ観察のクルーズツアーにも参加できます。私は残念ながらオレゴンコーストからクジラを目撃できませんでした。オレゴン派遣中に1回はクジラの姿を自分の目で見られたら嬉しいですね。また、今回は行けませんが、フローレンスの北には、シーライオンケイブスという、世界最大のアシカの洞窟があります。オレゴン州には、まだまだたくさん見所がありますね。

今回オレゴンコーストに行ったのは、8月の中旬過ぎです。マクミンビルやポートランドの気温は30度近くありましたが、オレゴンコーストはそれよりも10度ほど低く、風も強く、寒いとさえ感じるが多かったです。7月末に日本語サマーキャンプの校外学習で、子どもたちとオレゴンコーストのパシフィックシティに行った時も寒かったのですが、オレゴンの人たちは、オレゴンコーストは涼しいとよく知っているようで、必ず長袖を準備していました。皆さんも、オレゴンコーストへ行かれる際は、夏でも必ず長袖を準備して行ってくださいね。



ヤキーナ岬灯台



岬の上に建つヘセタヘッド灯台



海岸沿いを散歩



ビーチできれいな貝殻探し



オールドタウン・フローレンス

セントラルオレゴン

次に向かったのは、セントラルオレゴンと呼ばれるオレゴン中部です。その中心都市であるベンド近郊にある「ツマロ州立公園(Tumalo State Park)」のキャンプ場で2泊しました。この辺りは、ハイデザートと呼ばれる乾燥地帯が広がっており、大昔の火山活動でできた溶岩洞窟や噴石丘が点在しています。昨年9月に、派遣校SJSの2泊3日の遠足で訪れたハイデザート博物館やペインテッドヒルズもこのセントラルオレゴンにあります。

セントラルオレゴンでは、ニューベリー火山国定公園に行きました。最初に行ったのは、ラバ・リバー・ケイブ(Lava River Cave)という溶岩流洞窟です。真っ暗な洞窟の中を懐中電灯片手に、奥深くまで歩きました。洞

窟の中は1.5キロほど歩けますが、私たちは半分ほどまで歩いて戻ってきました。中は本当に真っ暗で、時々天井がものすごく低いところがあり、大変寒かったです。また、洞窟の中をそんなにも奥深くまで歩いたことがなかったので、少し怖かったです。次に行ったのは、ニューベリーカルデラ(Newberry Caldera)です。溶岩流の中を歩くトレイルを上まで登ると、ポーリナ湖とイーストレイクという2つの火口湖を眺めることができました。



ラバ・リバー・ケイブの入り口付近（内側から）



ニューベリーカルデラ（トレイルの頂上から）

ラフティングとカヤック

ベンドには、デシューツ川(Deschutes River)という大きな川が流れています。今回、デシューツ川をラフティングのボートで3日間下るといふキャンプツアーに参加しました。ツアー参加者は9名、ガイドが3名付きました。夜は、川岸でテントを立てて寝ました。6月中旬にワシントン州のサンフアン島周辺の太平洋をシー・カヤックで回るといふ1泊2日のキャンプツアーに参加していたので、要領は分かっていたのですが、ラフティングや川でのカヤックは初めてで、少し不安ながらもとても楽しかったです。大きな rapid（急流）には名前が付いており、あとで参加者たちがどの rapid が好きだったか話していました。rapid があまりない部分を下るときは、周りの風景をのんびりと眺めることができました。鷲や鷹をたくさん見かけましたし、野生の馬も目撃しました。野生の馬を見たのは人生初でした。デザートキャニオンと呼ばれる砂漠地帯の溪谷はとても美しく、日本では決して見られないであろう大自然の壮大さと美しさを3日間見飽きることはありませんでした。そしてツアーの最後に待ち受けていた大きな大きな rapid は、とてもエキサイティングで楽しかったです。3日間もかけて川を下るといふ発想は、日本ではないのではないかと思います。広大なアメリカならではの体験ができたと思います。

オレゴン州には、ユージーン郊外のマッケンジー川やセーラム郊外のノース・サンティアン川、さらにラフティングへの参加人数が許可制であるオレゴン南部のログ川など、ラフティングを楽しめる川がたくさんあります。日帰りのツアー



もあります。デシューツ川沿いの光景と違って、ノース・サンティアン川など他の川沿いでは、緑の木々が広がり、砂漠地帯とはまた違った風景を楽しむことができます。ラフティングやカヤックも、オレゴンで楽しめるア

ウトドアの一つです。



雄大なデザートキャニオンの中を流れるデシュート川をラフティングのボートで下る旅



川岸でキャンプ



キャンプサイトから見た景色

クレーターレイク

最後に向かったのは、オレゴン南部にある、クレーターレイク国立公園(Crater Lake National Park)で、約7700年前のマザマ山の大爆発でできた巨大なカルデラ湖です。世界で7番目に深いそうで、標高2000m以上の高さにある湖面は、深く青く、その美しい青さに吸い込まれてしまいそうな感覚に陥るほどでした。また、昼間のクレーターレイクも青々として美しかったです。夕暮れは時間とともに湖面の色が少しずつ変化し、それもまた大変美しかったです。



クレーターレイクでは、湖の中に浮かぶ高さ234mのミニ火山ウィザード島まで行けるボートツアーに参加しました。ウィザード島では、山頂まで続くトレイルを登り、ハイキングも楽しみました。ボートツアーでは湖を1周し、パークレンジャーが滝やファントムシップ島などの見所やクレーターレイクの歴史について解説してくれました。

このボートツアーの乗り場は、駐車場から1.6キロのトレイルを下っていった湖面にあるため、ツアー後、この坂をまた登るといのがかなり大変でした。この日は晴天で、これによる暑さや、更には2,000m以上という標高も影響していたのだと思います。

今回のこの旅は、ホストマザーが私に「夏休みに行きたいところはどこ？」と質問した際、「クレーターレイク」と答えたことがきっかけで企画してくれた旅でした。行きたかったクレーターレイク以外にも、オレゴン州の様々な見所にも連れて行ってくれました。ホストファミリーは、例年、キャンピングカーでユタ州やカリフォルニア州などによく行っているようで、これまでオレゴン州内をキャンピングカーで回ったことはなかったそうです。「オレゴン便り」で見所を紹介するためにオレゴンを見たいという私の気持ちを汲んでくださったことに、感謝しても感謝しきれないくらいです。



夕暮れのクレーターレイク



ファントムシップ島（上から見たものとボートから見たもの）



オレゴン州では、他にも様々なアウトドア・アクティビティーが楽しめます。以前にも紹介しましたが、州内の様々なところに整備されているハイキング・トレイルを歩くハイキングもその一つです。乗馬を体験できる場所やゴルフ、フライフィッシングを楽しめる場所も多くあります。

また、冬になると、マウントフッドやマウントバチェラーでスキーやスノーボードを楽しむことができ、マウントバチェラーでは、犬ぞりツアーも体験できます。

他にも、夏にはセーリングやウィンドサーフィンも楽しめます。7月上旬、フッドリバーの町近くのコロンビア川では、たくさんの方がウィンドサーフィンを行っていました。



ナイキやコロンビアスポーツの発祥の地でもあるオレゴン州。だからこそ、このようにアウトドアが盛んなのでしょう。皆さんもオレゴン州にお越しの際は、ぜひ、美しい大自然の中でアウトドアに挑戦してみてください。